

# 在宅介護実態調査の集計結果

～第9期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和5年9月

<長岡市>



## 目次

<b>第1章 在宅介護実態調査の概要</b> .....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書の見方.....	1
<b>第2章 在宅介護実態調査の結果</b> .....	2
1 A票調査結果.....	2
2 B票調査結果.....	7
<b>第3章 調査から見える課題</b> .....	11
1 集計分析について.....	11
2 要介護者の在宅生活の継続について.....	12
3 介護者の就労継続について.....	17
4 保険外の支援・サービスについて.....	20
5 世帯類型別の支援・サービスについて.....	22

## 1 調査の目的

本調査は、第9期介護保険事業計画の策定にあたって、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的とします。

## 2 調査の概要

調査内容	国が示した「在宅介護実態調査票」に基づき作成 A票：ご本人向け 問1～問10 B票：主な介護者向け 問1～問5
調査対象者	期間内に要支援・要介護認定の更新・区分変更申請に伴う認定調査を行った、居宅にお住まいの方（施設・居住系、入院を除く）
調査方法	認定調査員による聞き取り調査
調査の期間	令和4年12月1日～令和5年3月31日

## 3 回収結果

回収数（人）	636
--------	-----

## 4 報告書の見方

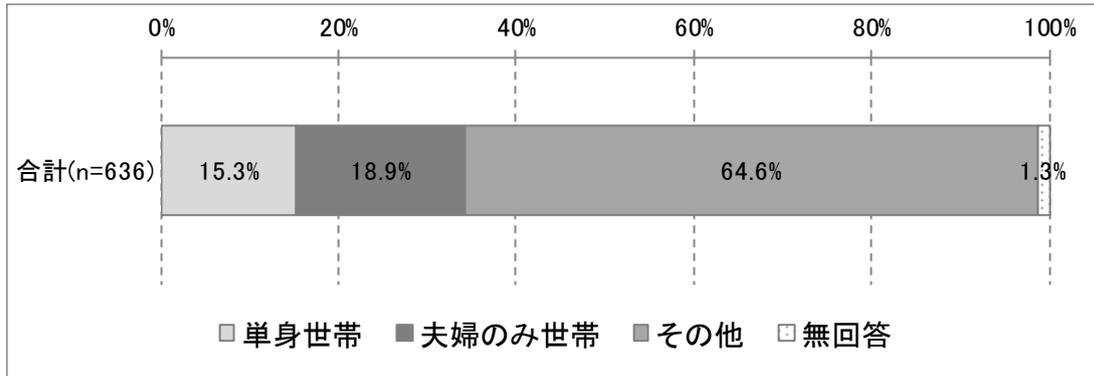
グラフの表記について	<p>グラフの%表示は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。</p> <p>複数回答の項目は、回答の%の合計が100%を超えています。</p> <p>グラフ内及びグラフ付近にある「n=***」は、パーセントを算出する母数を意味します。</p>
------------	--

1 A票調査結果

(1) 世帯類型

世帯累計の割合をみると、「その他」が最も高く64.6%となっています。

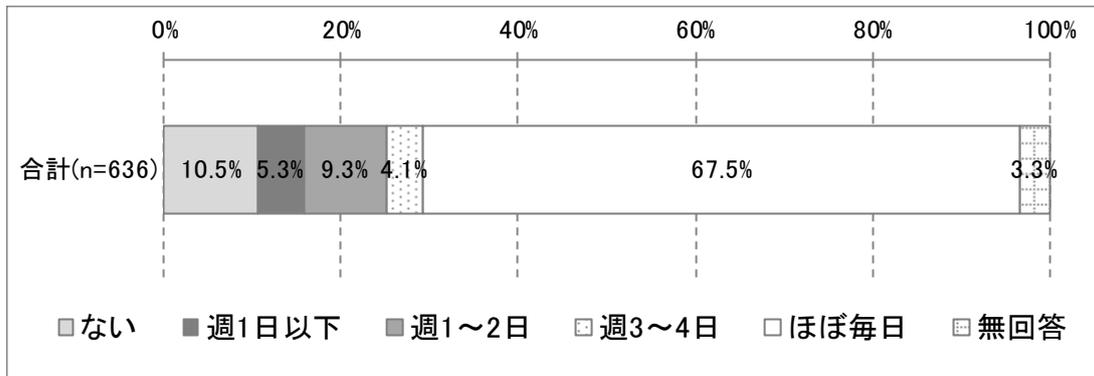
図表 2-1-1 世帯類型



(2) 介護の頻度の状況

家族等による介護の頻度の割合をみると、「ほぼ毎日」が67.5%と最も高く、次いで「ない」が10.5%、「週1~2日」が9.3%となっています。

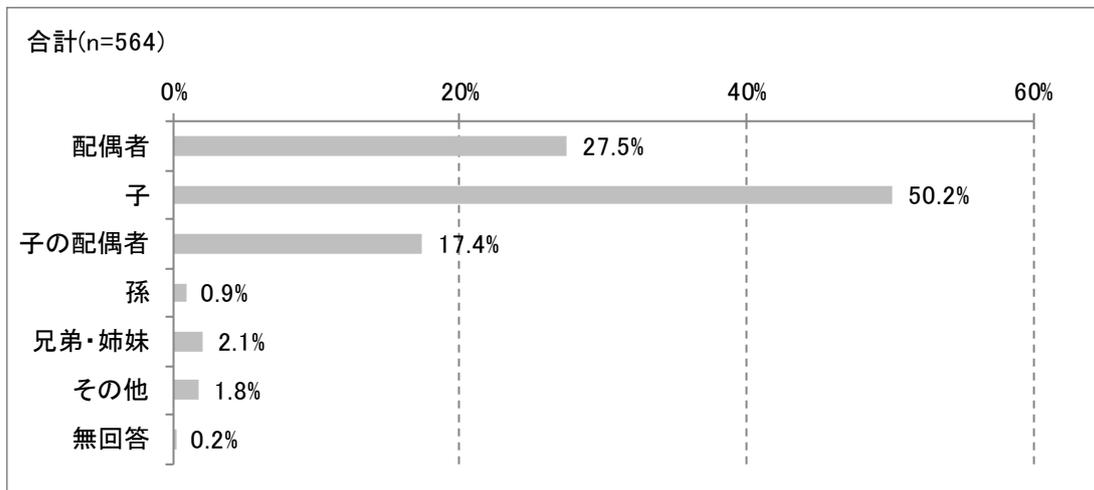
図表 2-1-2 家族等による介護の頻度



### (3) 主な介護者

主な介護者の割合をみると「子」が50.2%と最も高く、次いで「配偶者」が27.5%、「子の配偶者」が17.4%となっています。

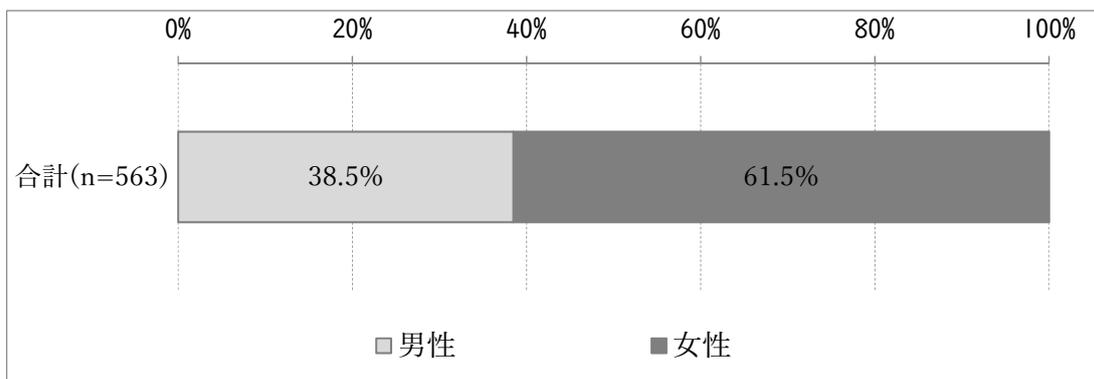
図表 2-1-3 主な介護者



### (4) 主な介護者の性別

主な介護者の性別の割合をみると、「女性」が61.5%、「男性」が38.5%となっています。

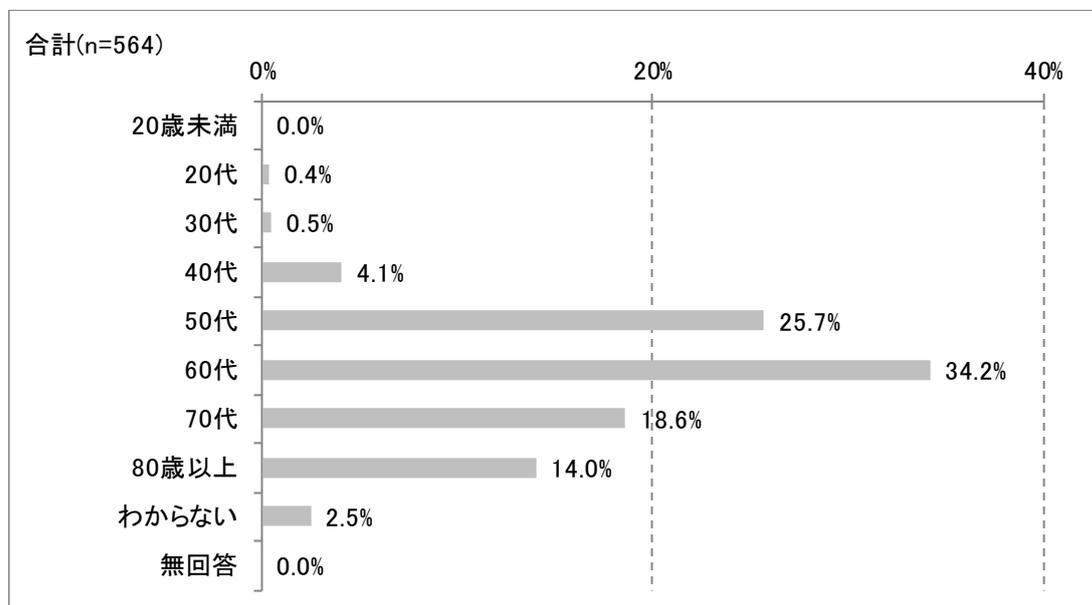
図表 2-1-4 主な介護者の性別



### (5) 主な介護者の年齢

主な介護者の年齢の割合をみると「60代」が34.2%と最も高く、次いで「50代」が25.7%、「70代」が18.6%となっています。

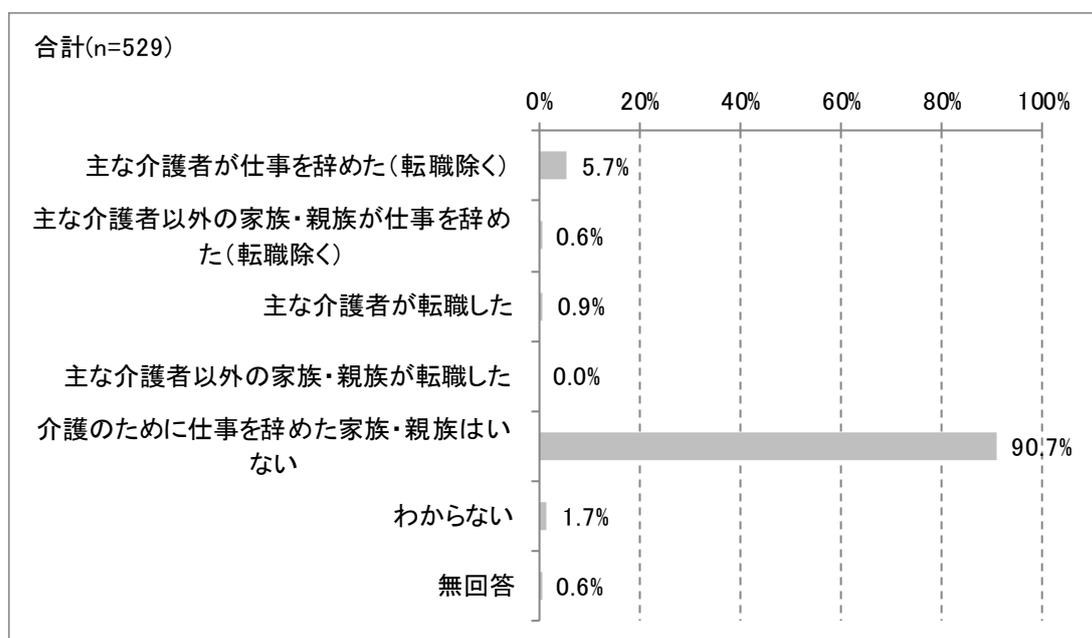
図表 2-1-5 主な介護者の年齢



### (6) 介護を理由とした介護者の離職の有無

過去1年間に介護を理由に離職した介護者の有無の割合をみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が90.7%と最も高くなっており、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は5.7%となっています。

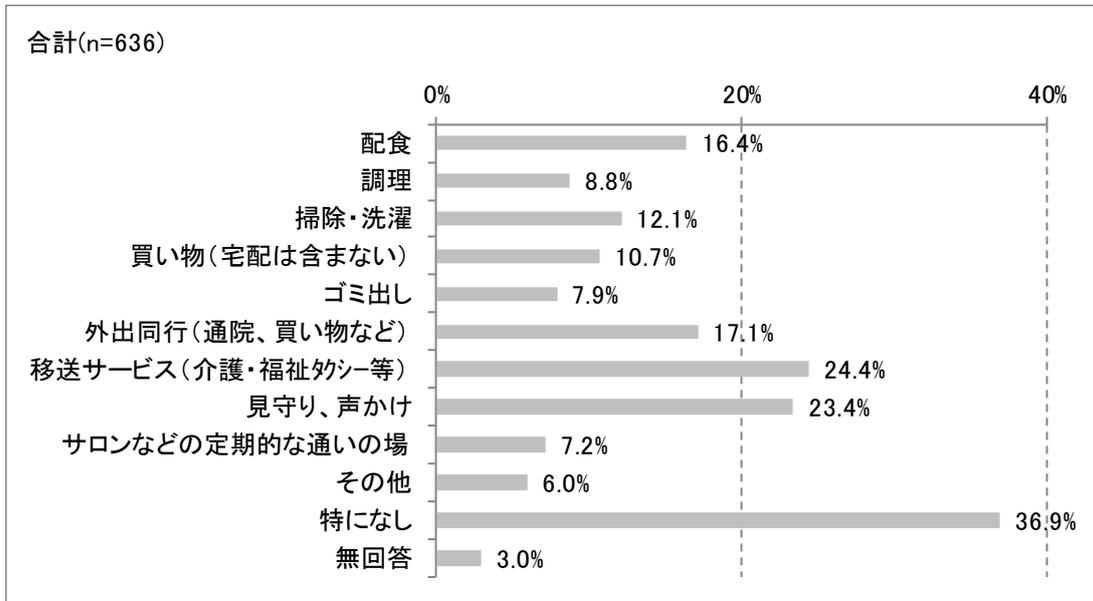
図表 2-1-6 介護を理由とした介護者の離職の有無



(7) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスの割合をみると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.4%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」が23.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が17.1%となっています。

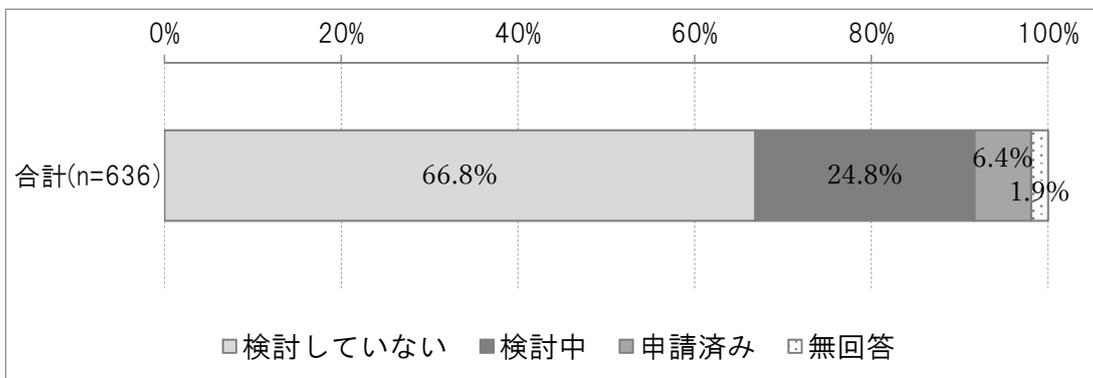
図表 2-1-7 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(8) 施設等への入所・入居の検討状況

現時点での施設等への入所・入居の検討状況の割合をみると、「検討していない」が66.8%となっており、「検討している」は24.8%、「すでに申し込みをしている」が6.4%となっています。

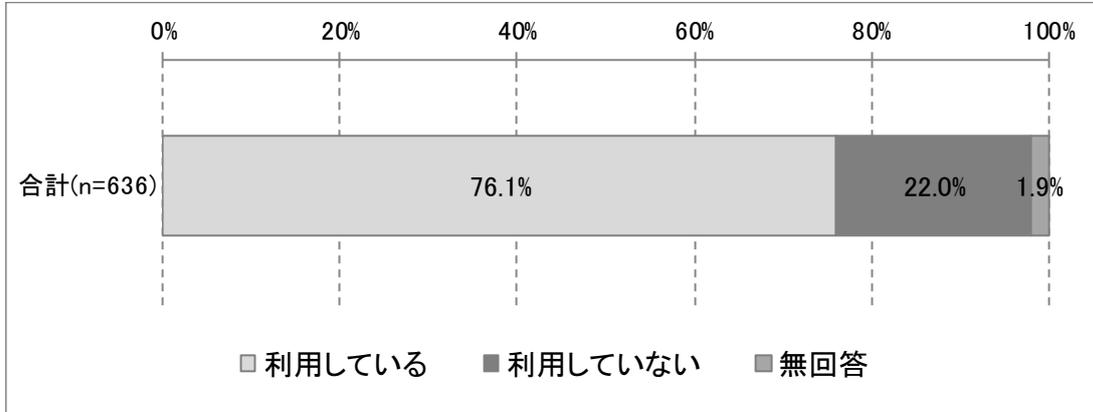
図表 2-1-8 施設等への入所・入居の検討状況



(9) 介護保険サービスの利用の有無

介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）利用の有無の割合をみると、「利用している」が76.1%で、「利用していない」が22.0%となっています。

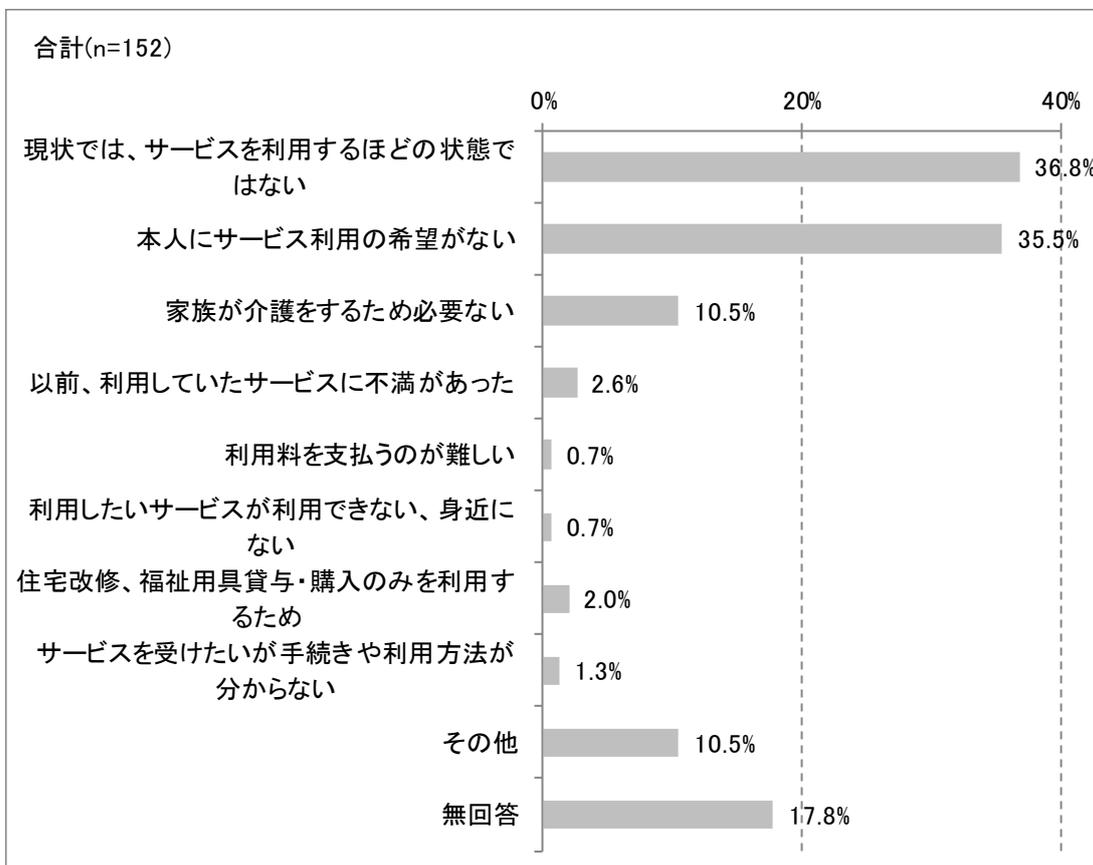
図表 2-1-9 介護保険サービスの利用の有無



(10) 介護保険サービスを利用していない理由

介護保険サービスを利用していない理由の割合をみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が36.8%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が35.5%、「家族が介護をするため必要ない」が10.5%となっています。

図表 2-1-10 介護保険サービスを利用していない理由

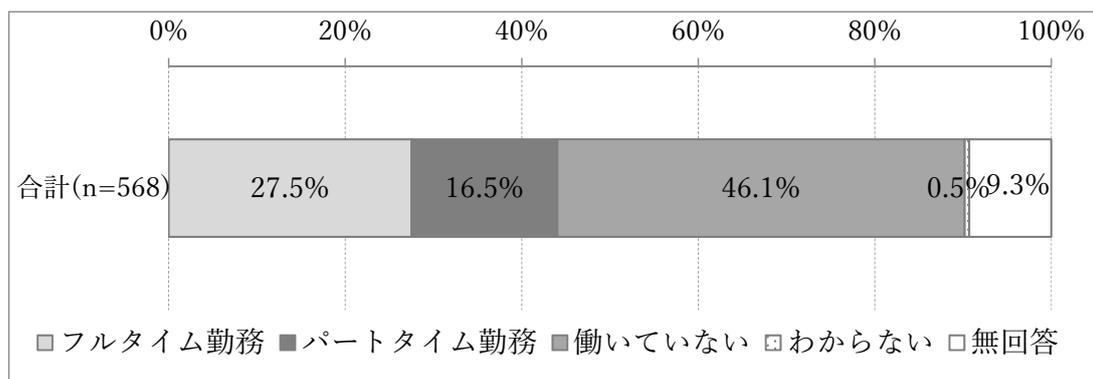


## 2 B票調査結果

### (1) 主な介護者の勤務形態

主な介護者の現在の勤務形態の割合をみると、「働いていない」が46.1%と最も高くなっており、次いで「フルタイム勤務」が27.5%、「パートタイム勤務」が16.5%となっています。

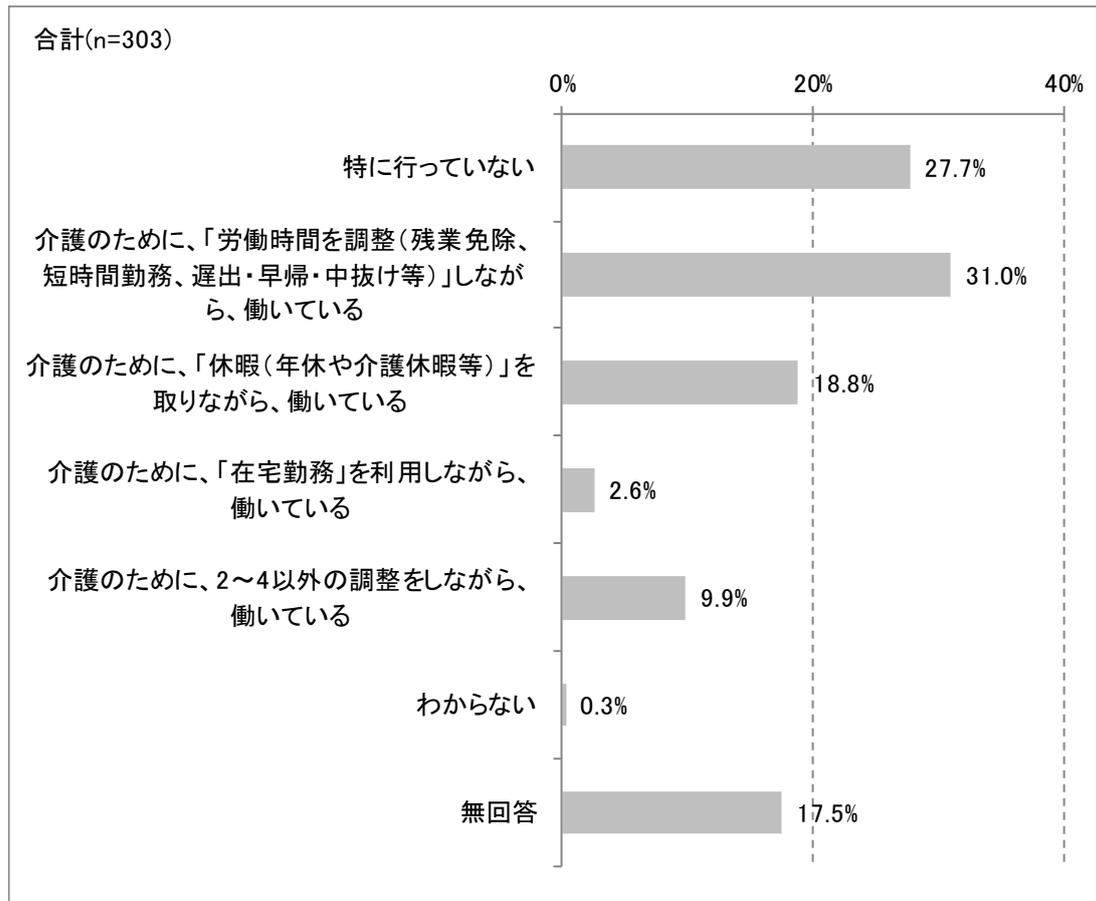
図表 2-2-1 主な介護者の勤務形態



## (2) 主な介護者が行っている働き方の調整等

主な介護者が行っている働き方の調整等の割合をみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が31.0%と最も高くなっており、次いで「特に行っていない」が27.7%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が18.8%となっています。

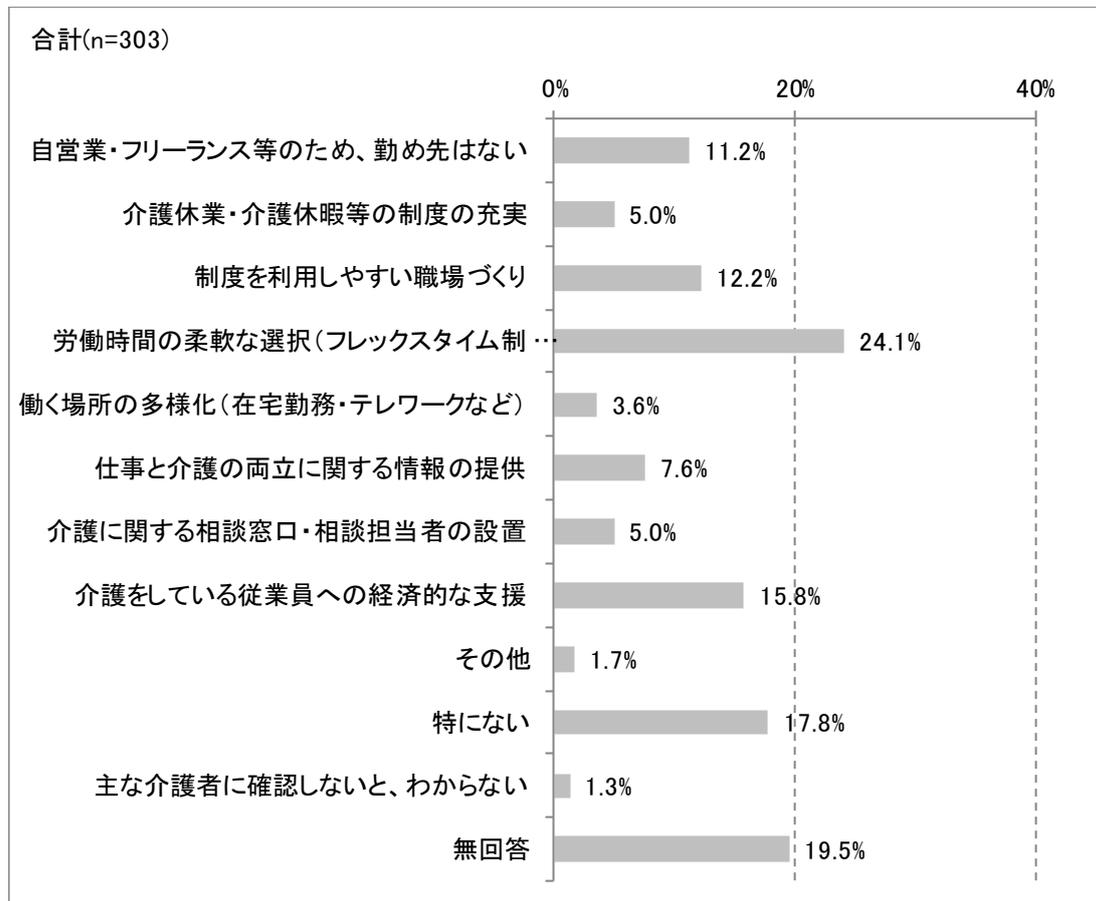
図表 2-2-2 主な介護者が行っている働き方の調整等



### (3) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援の割合をみると、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が24.1%と最も高くなっており、次いで「特にない」が17.8%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が15.8%となっています。

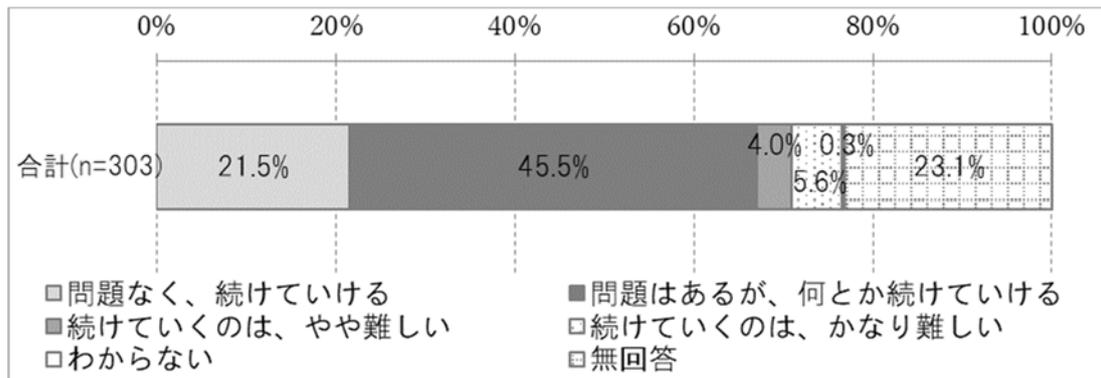
図表 2-2-3 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援



#### (4) 主な介護者の就労継続見込み

主な介護者における介護をしながらの今後の就労継続見込みの割合をみると、「問題はあるが、何とか続けていける」が45.5%と最も高くなっており、次いで「問題なく、続けていける」が21.5%、「続けていくのは、かなり難しい」が5.6%となっています。

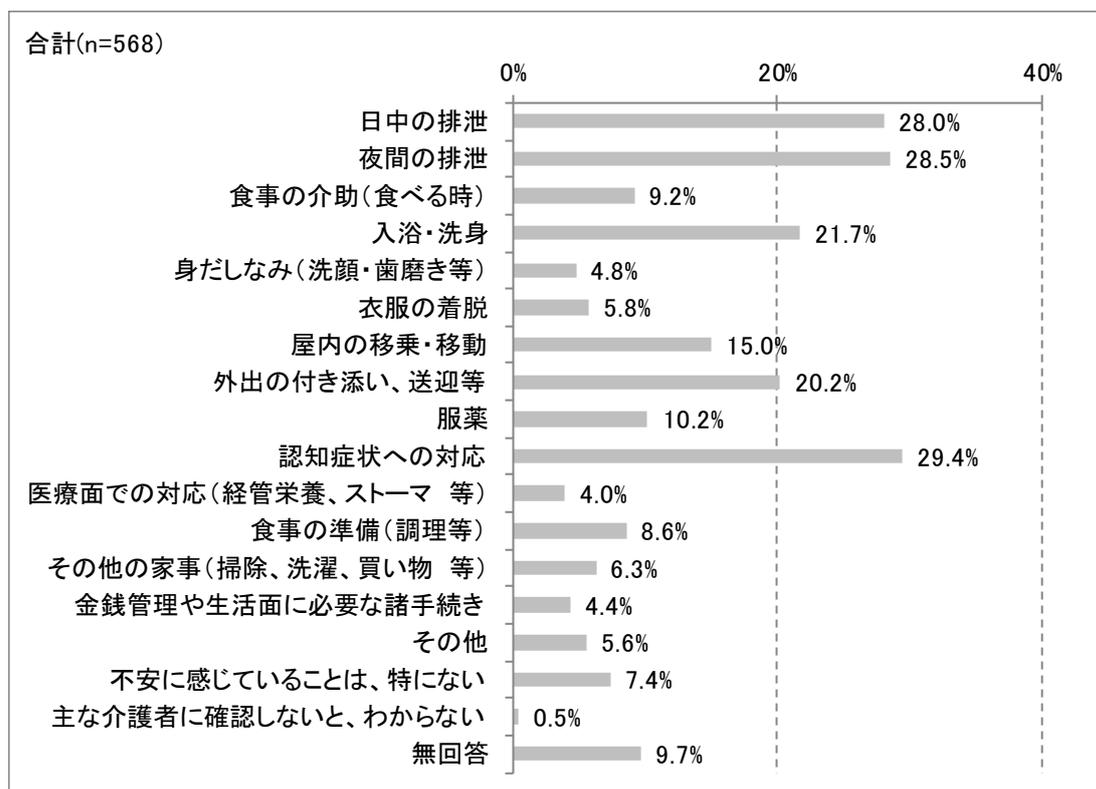
図表 2-2-4 主な介護者の就労継続見込み



#### (5) 主な介護者が不安に感じる介護等

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等の割合をみると、「認知症状への対応」が29.4%と最も高くなっており、次いで「夜間の排泄」が28.5%、「日中の排泄」が28.0%となっています。

図表 2-2-5 主な介護者が不安に感じる介護等



## 1 集計分析について

### (1) 集計分析方法

集計分析については、国が提供する「在宅介護実態調査 自動集計分析ソフト」を活用しています。

### (2) 用語の定義

#### 【サービス利用の分析に用いた用語の定義】

用語	定義
未利用	「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみの利用者は、未利用として集計
訪問系	(介護予防)訪問介護、(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計
通所系	(介護予防)通所介護、(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護を「通所系」として集計
短期系	(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護を「短期系」として集計
その他	小規模多機能 (介護予防)小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計
	看護多機能 看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計
	定期巡回 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計

#### 【サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義】

用語	定義
未利用	上表に同じ
訪問系のみ	上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計
訪問系を含む組み合わせ	上表の「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「短期系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計
通所系・短期系のみ	上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計

#### 【施設等の検討の状況に係る用語の定義】

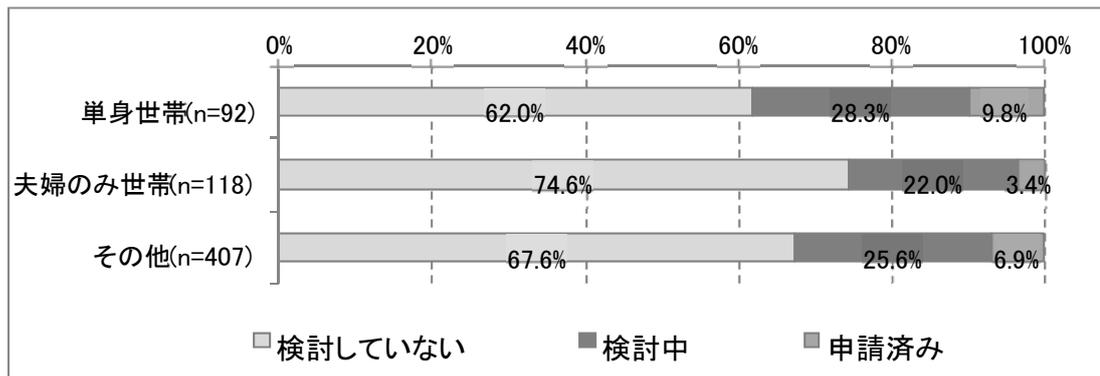
- 本集計・分析では、施設等検討の状況について、「入所・入居は検討していない(検討していない)」、「入所・入居を検討している(検討中)」、「すでに入所・入居申し込みをしている(申請済み)」の3つに分類して集計しています。
- なお、ここでの「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指すものであり、介護保険施設には限定していません。

## 2 要介護者の在宅生活の継続について

### (1) 世帯類型別・施設等検討の状況

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」で「検討中」もしくは「申請済み」とする割合が38.1%となっており、「夫婦のみ世帯」、「その他世帯」に比べ高くなっています。

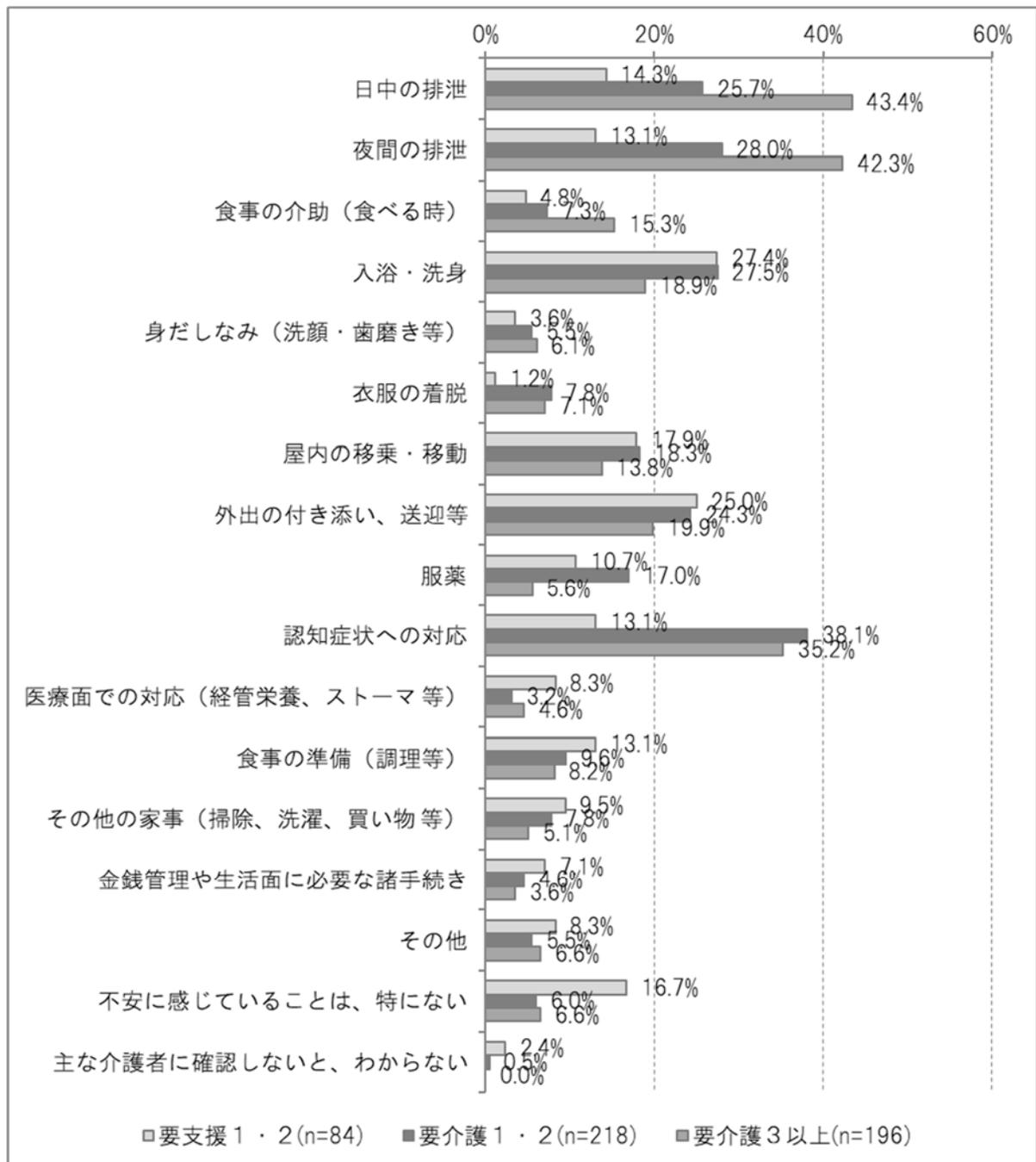
図表 3-2-1 世帯類型別・施設等検討の状況



## (2) 要介護度別の介護者が不安に感じる介護

介護者が不安に感じる介護を介護度別にみると、「要支援1・2」では「入浴・洗身」の割合が27.4%と高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が25.0%、「屋内の移乗・移動」が17.9%となっています。また、「要介護1・2」では、「認知症状への対応」が38.1%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が28.0%、「入浴・洗身」が27.4%となっており、「要介護3以上」では、「日中の排泄」が43.4%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が42.3%、「認知症状への対応」が35.2%となっています。

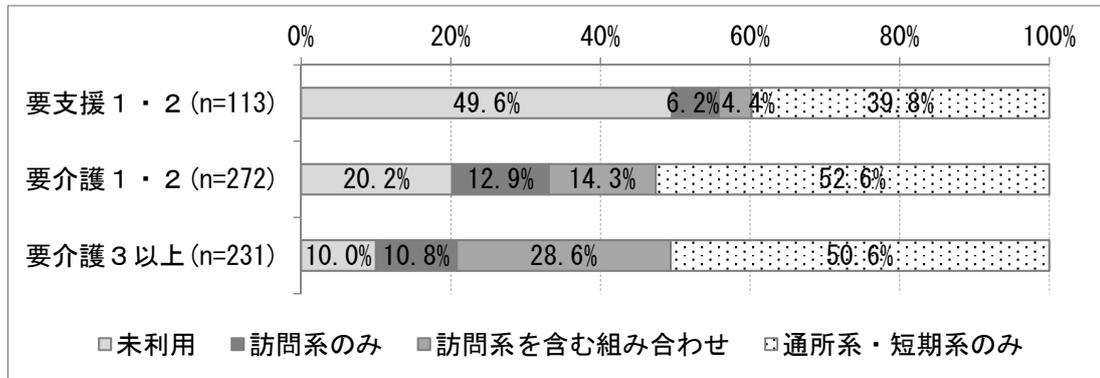
図表 3-2-2 要介護度別・介護者が不安に感じる介護



### (3) 要介護度別のサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを介護度別にみると、「通所系・短期系のみ」が「要介護1・2」で52.6%、「要介護3以上」で50.6%と高くなっています。

図表 3-2-3 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



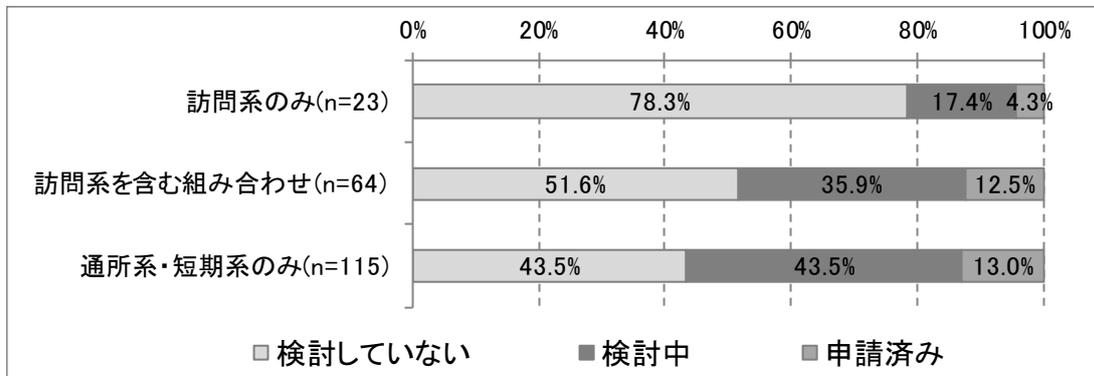
#### (4) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」の割合が78.3%ともっとも高く、「通所系・短期系のみ」では「検討中」もしくは「申請済み」の割合が56.5%となっています。

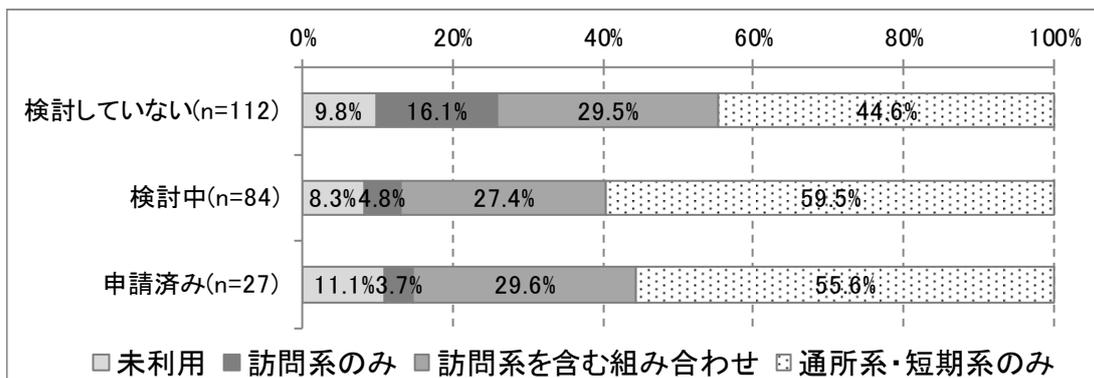
また、サービス利用の組み合わせを施設等検討状況別にみると、「検討中」では「通所系・短期系のみ」が59.5%、「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が55.6%と高い割合になっています。

「通所系・短期系」のサービス利用者において、施設等の検討中、申請済みの割合が高くなっています。

図表 3-2-4-1 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



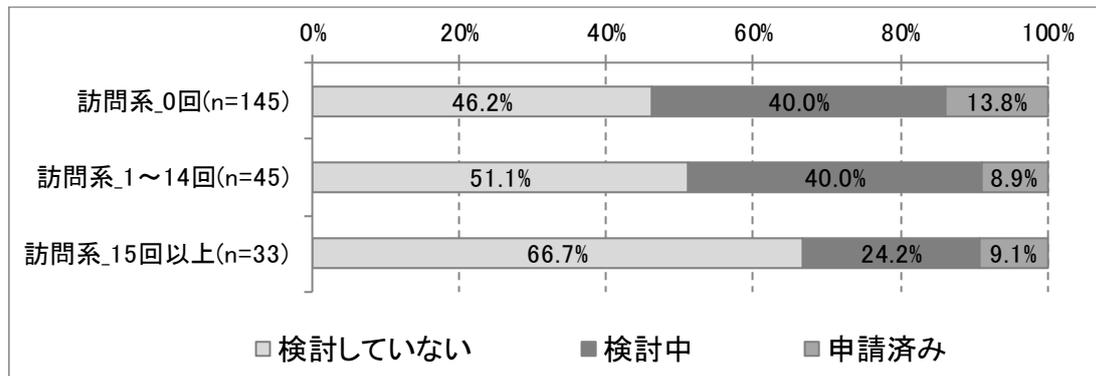
図表 3-2-4-2 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



(5) サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）

訪問系のサービス利用回数別に施設等の検討状況をみると、「検討していない」の割合が「訪問系\_0回」で46.2%、「訪問系\_1～14回」で51.1%、「訪問系\_15回以上」で66.7%となっており、利用回数が多くなるとともに「検討していない」の割合が高くなっています。

図表 3-2-5 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）

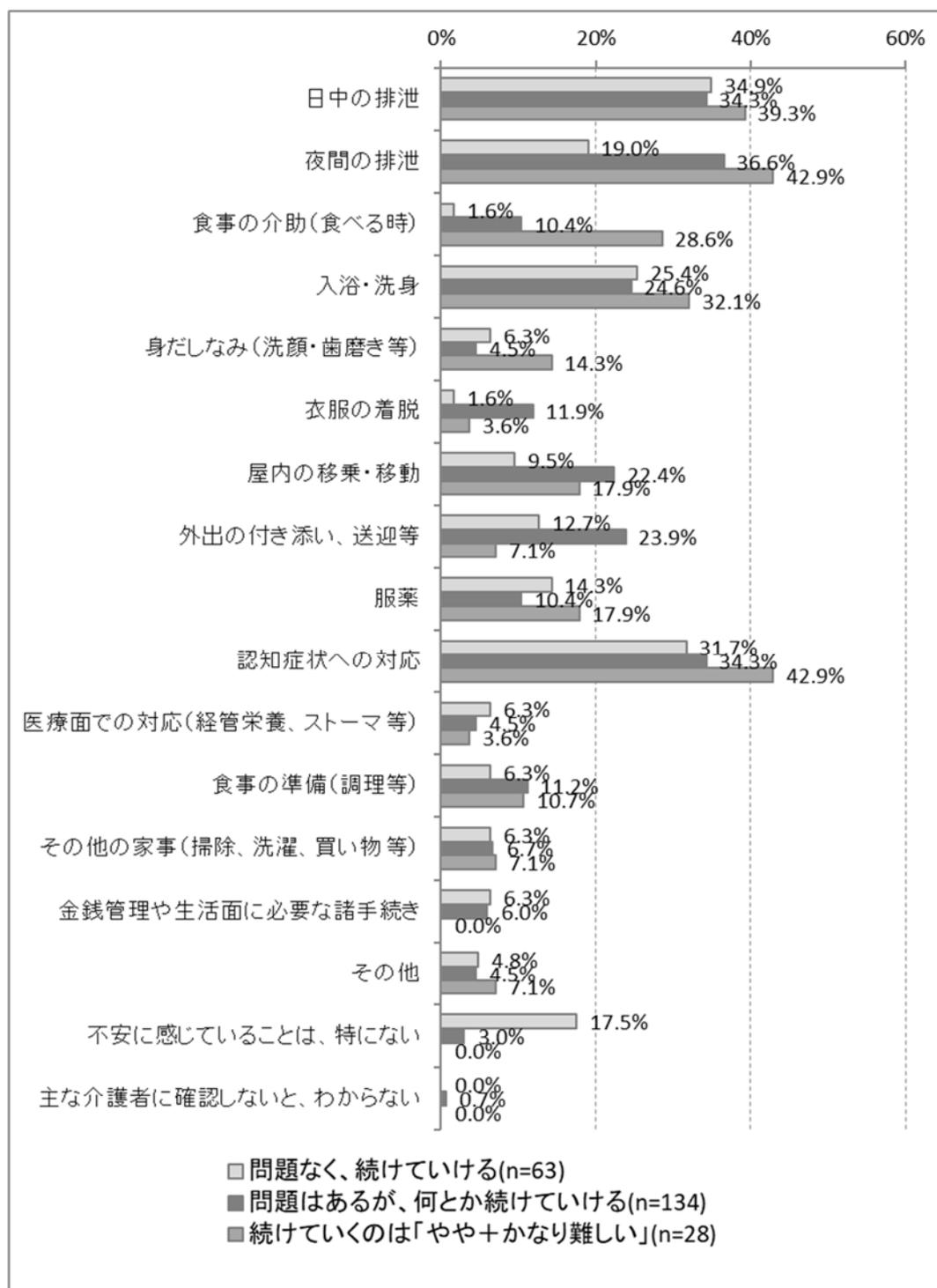


### 3. 介護者の就労継続について

#### (1) 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続見込み別にみると、「問題なく、続けていける」では「日中の排泄」の割合が34.9%ともっとも高く、次いで「認知症状への対応」が31.7%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「夜間の排泄」の割合が36.6%ともっとも高く、次いで「日中の排泄」、「認知症状への対応」が34.3%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」の割合がともに42.9%と高くなっています。

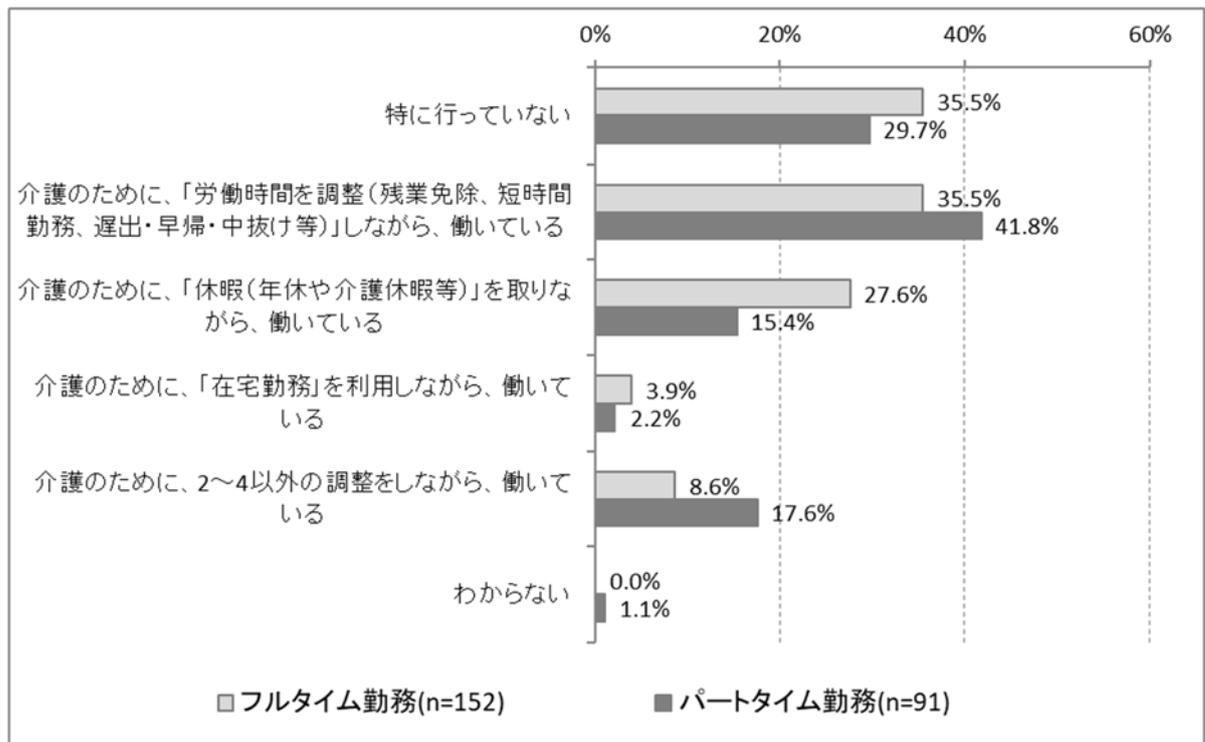
図表 3-3-1 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



## (2) 就労状況別・介護のための働き方の調整

介護者の働き方の調整状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合がともに35.5%と高くなっており、「パートタイム勤務」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が41.8%ともっとも高くなっています。

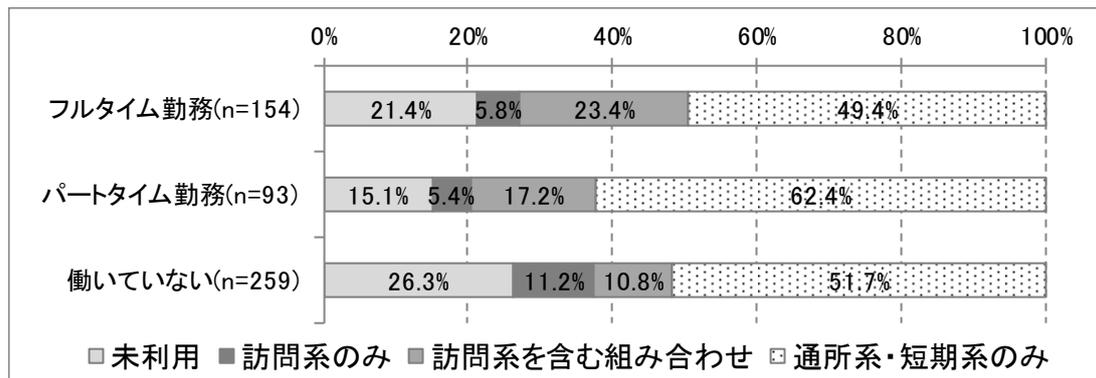
図表 3-3-2 就労状況別・介護のための働き方の調整



### (3) 就労形態別・サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」の割合が49.4%ともっとも高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.4%となっています。「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」の割合が62.4%ともっとも高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が17.2%となっています。「働いていない」では「通所系・短期系のみ」の割合が51.7%ともっとも高く、次いで「未利用」が26.3%となっています。

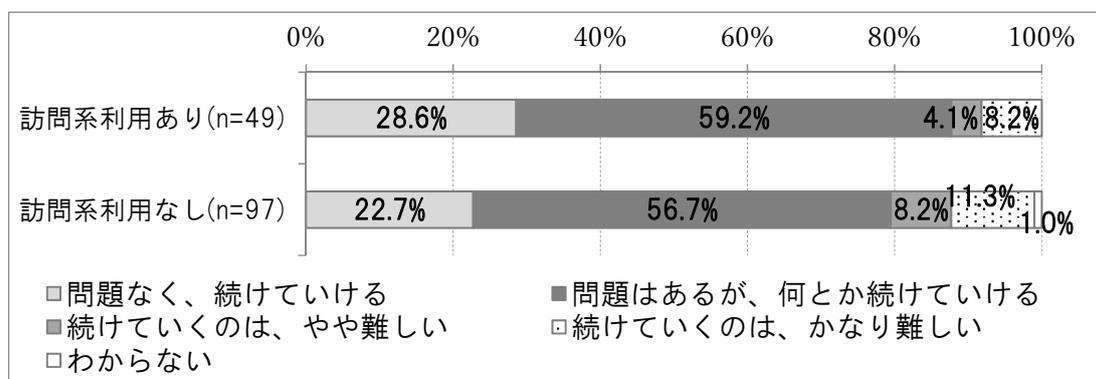
図表 3-3-3 就労形態別・サービス利用の組み合わせ



### (4) サービス利用の有無別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）

介護者の就労継続見込みを訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が59.2%ともっとも高く、次いで「問題なく、続けていける」が28.6%となっています。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が56.7%ともっとも高く、次いで「問題なく、続けていける」が22.7%となっています。

図表 3-3-4 サービス利用の有無別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）

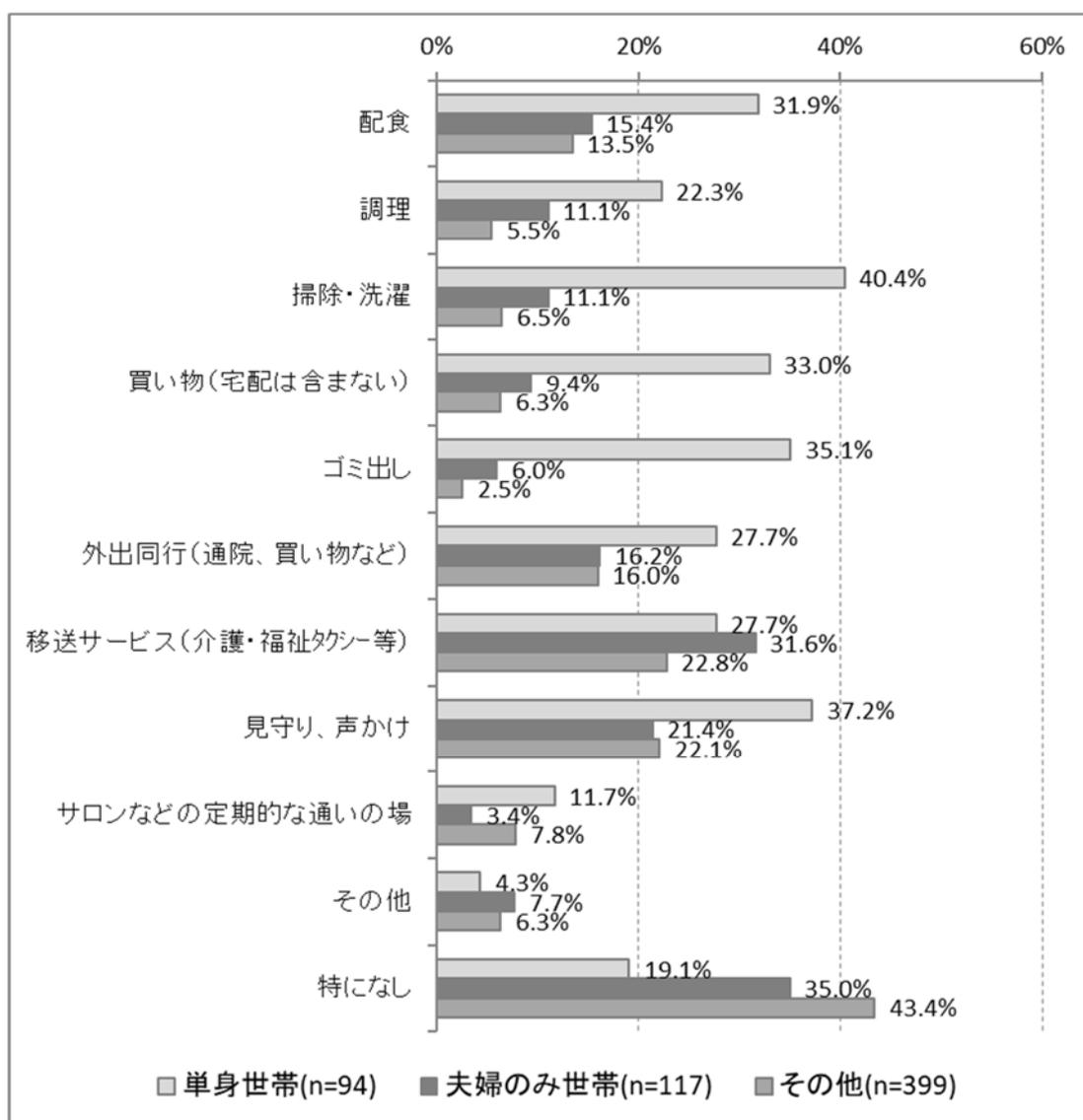


#### 4. 保険外の支援・サービスについて

##### (1) 世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを世帯類型別にみると、「単身世帯」では「掃除・洗濯」の割合が40.4%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」が37.2%、「ゴミ出し」が35.1%となっています。「夫婦のみ世帯」では「特になし」の割合が35.0%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.6%となっています。「その他」では「特になし」の割合が43.4%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が22.8%となっています。

図表 3-4-1 世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

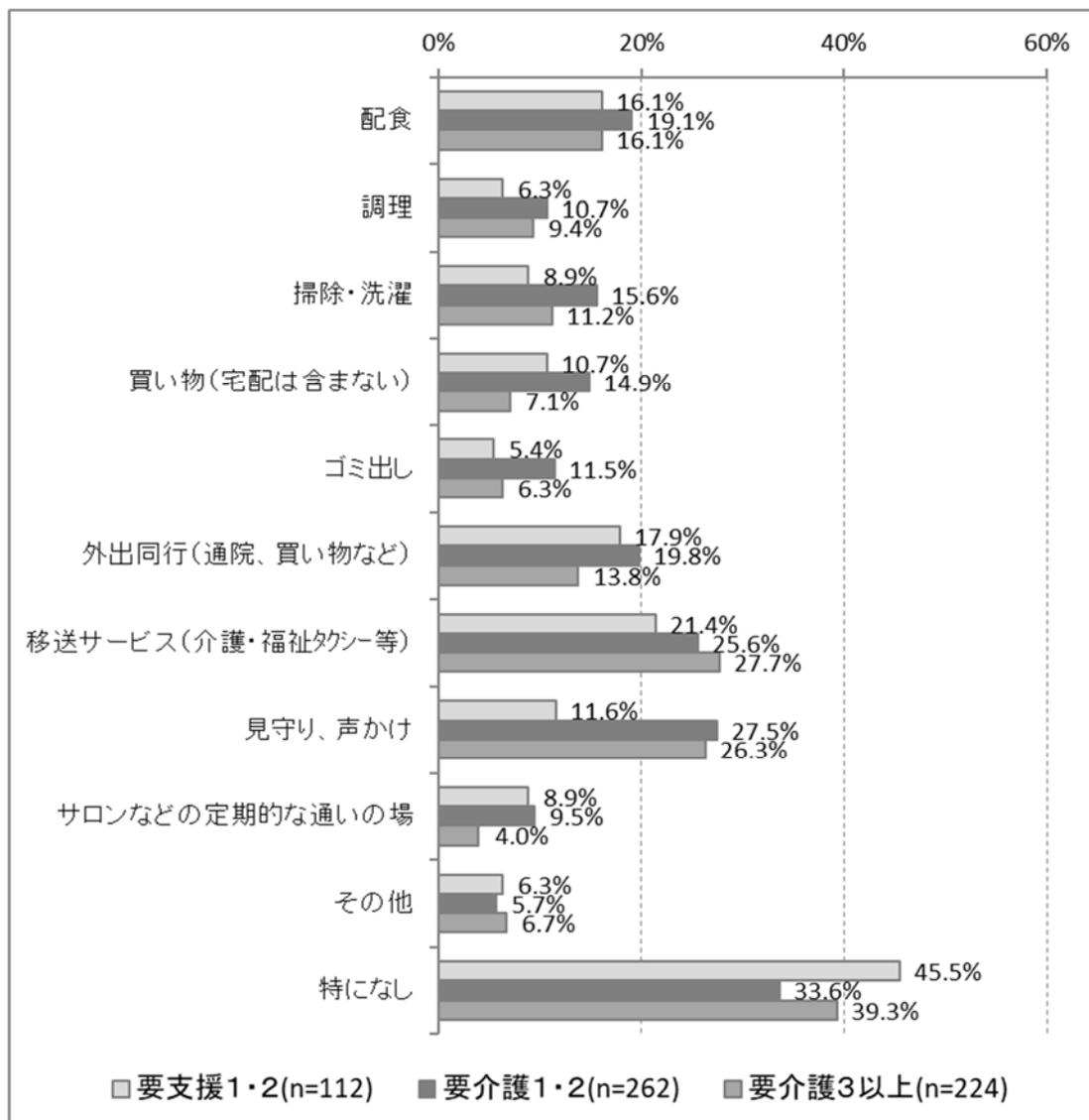


## (2) 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを要介護度別にみると、「要支援1・2」では「特になし」の割合が45.5%、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が17.9%となっています。「要介護1・2」では「特になし」が33.6%、次いで「見守り、声かけ」が27.5%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.6%となっています。「要介護3以上」では「特になし」が39.3%、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.7%、「見守り、声かけ」が26.3%となっています。

一般的に「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」と「見守り、声かけ」の割合が高くなっています。

図表 3-4-2 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

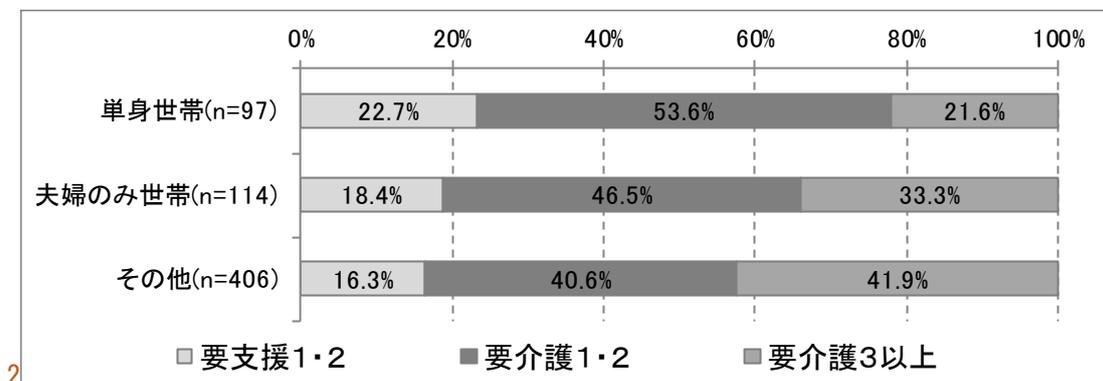


## 5. 世帯類型別の支援・サービスについて

### (1) 世帯類型別・要介護度

世帯類型別・要介護度について、「要介護3以上」の割合が「単身世帯」で21.6%となっており、「夫婦のみ世帯」、「その他世帯」に比べて低くなっています。

図表 3-5-1 世帯類型別・要介護度



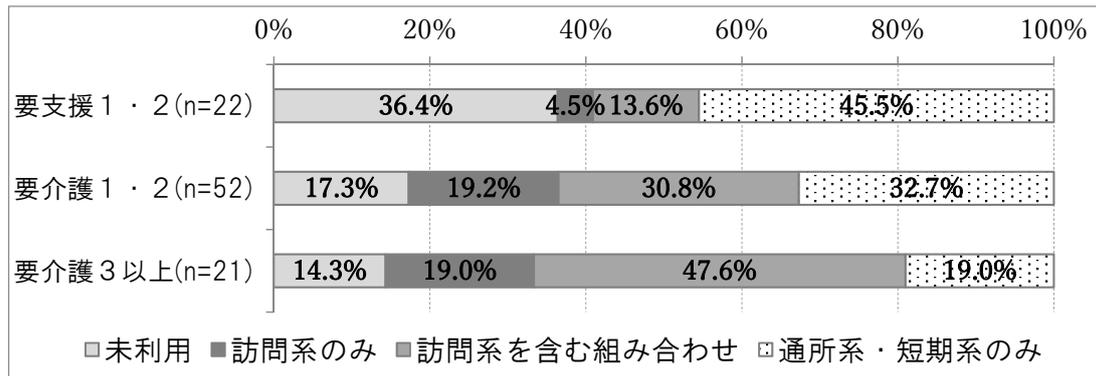
2

## (2) 要介護度別・サービス利用の組み合わせ

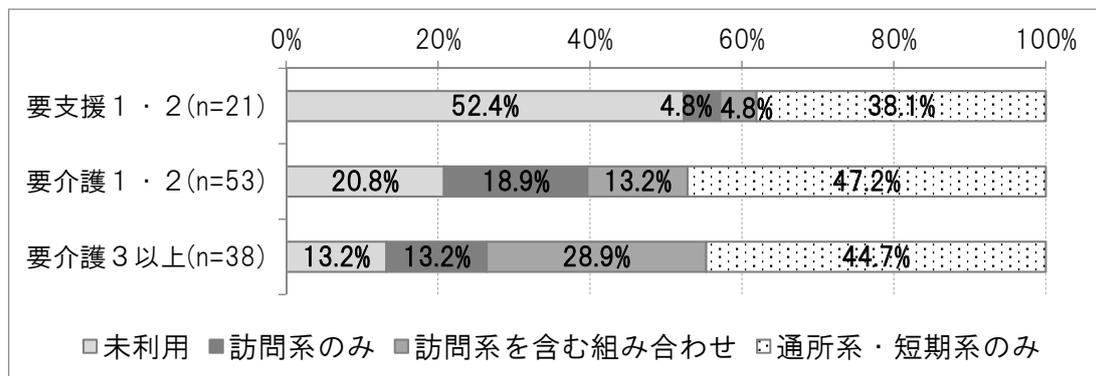
世帯類型毎の介護度別にサービス利用状況をみると、「要支援1・2」で「未利用」の割合が「単身世帯」で36.4%、「夫婦のみ世帯」で52.4%、「その他世帯」で51.5%となっています。

また、「要介護3以上」では「未利用」の割合が「単身世帯」で14.3%、「夫婦のみ世帯」で13.2%、「その他世帯」で8.2%となっています。

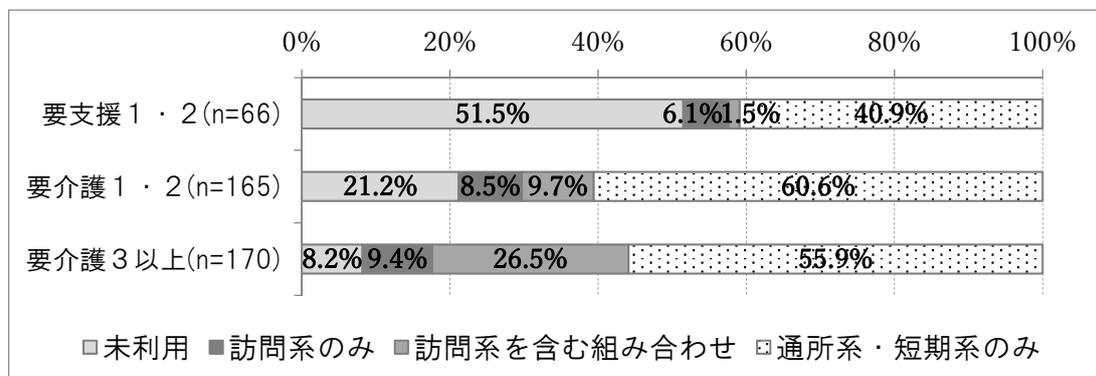
図表 3-5-2-1 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



図表 3-5-2-2 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



図表 3-5-2-3 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）

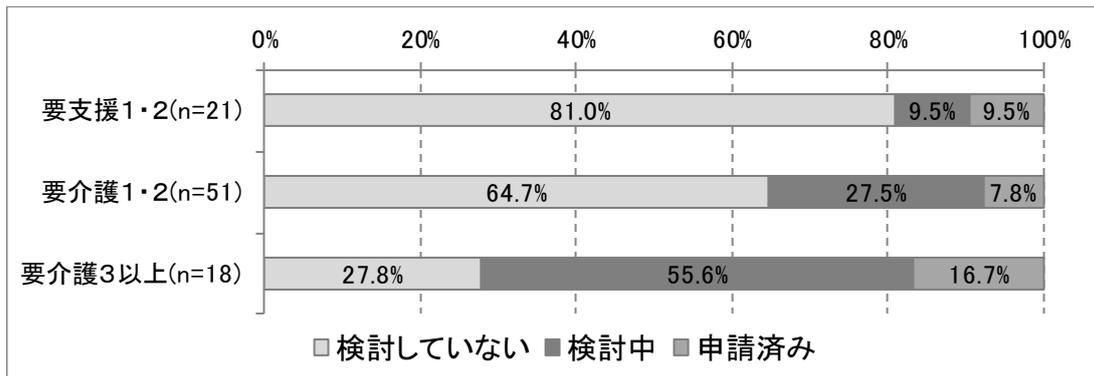


### (3) 要介護度別・施設等検討の状況

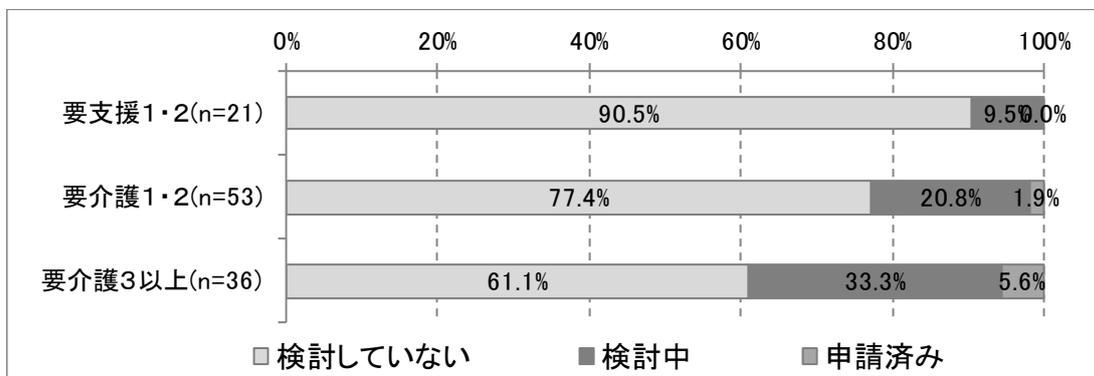
世帯類型毎の介護度別に施設等検討の状況をみると、「要介護1・2」で「検討していない」の割合が「単身世帯」で64.7%、「夫婦のみ世帯」で77.4%、「その他世帯」で76.5%となっています。

また、「要介護3以上」では「検討していない」の割合が「単身世帯」で27.83%、「夫婦のみ世帯」で61.1%、「その他世帯」で50.6%となっています。

図表 3-5-3-1 要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



図表 3-5-3-2 要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



図表 3-5-3-3 要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）

